

# 特集 コロナ禍で見えてきたこと

～ジェンダー格差を見直し新しい日常へ～

自粛によって経済は停滞し、仕事を失う人が増え、居場所を失う人も出るなど社会は深刻な状況となりました。また、学校は休校を要請され職場はテレワークが推奨され、家庭では女性の負担がいっそう増えたと聞きます。私たちはこの未曾有の経験から何を心得、これからの生活にどう活かしていけばよいのか考えてみました。

## 『スフィア基準』からのアピール

戦争、自然災害や感染症を含む「災害」に対する人道支援の国際基準「スフィア基準」の管理団体から、2月末に新型コロナ対応に関して次の3項目を重視すべきだ、と呼びかけがありました。

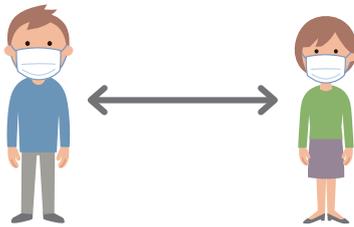
- ①人々は「症例」ではなく「人間」としてみなされるべきである
- ②コミュニティ(地域の社会や人々)の参加が非常に重要
- ③新型コロナ拡散防止に集中しすぎるあまり、そのほかの問題や長期的医療ニーズが、ないがしろにならない



## 「COVID-19」とは?

スフィア基準でも示されていますが、「新型コロナウイルス感染症」のことを海外では「コビット19」や「コビット」と呼んでいます。感染症に地名・場所名・動物や人の名前を入れると、関係する人々に偏見などの人権侵害が起こる危険があります。そこで、WHO(世界保健機関)は、2019年に発見された感染症をこのように名づけました。

## 2020年の新型コロナに関わる動き



1月14日	WHOが新型コロナウイルスを確認
2月3日	感染者が発生したクルーズ船 横浜港へ
2月13日	日本初のコロナウイルスによる死者
2月27日	首相が全国の小中高校へ臨時休校要請
3月24日	東京2020大会の1年延期決定
4月7日	7都府県に緊急事態宣言
4月16日	全国に緊急事態宣言
5月4日	緊急事態宣言が5月31日まで延長
5月25日	緊急事態宣言が全国で解除
8月30日	世界の感染者2500万人を超える



**STAY HOME**

## 大活躍した世界の女性リーダーたち

ドイツのメルケル首相は国民に対し、新型コロナの危険性を「国内人口の7割に感染が及ぶ危険性がある」と警告。検査を早期に開始した結果、感染者を他の欧米諸国よりはるかに低く抑えました。検査の開始が異例の速さといえる1月に検査を開始したのは台湾・蔡英文総統です。129の措置を発表し他国のようなロックダウン(都市封鎖)を回避することに成功しました。「強くて優しい」戦略が好感を得ており、自身も子育て世代であるニュージーランドのアダーン首相も、独自のロックダウンを断行。子どもたちへの呼びかけも含め、その理由を国民に説明して理解を得ました。

## UN Womenによる声明

国連女性機関(UN Women)事務局長のムランボ＝ヌカカ氏は、3月末に声明文を発信しました。「多くの医療現場で働いているのは女性です。この新型コロナ危機で女性の健康が脅かされないような戦略が必要です」。さらに、女性に対する暴力が増加し、シングルマザーをはじめ経済的な不平等が大きくなることに警鐘を鳴らし、各国のリーダーたちに誠意ある対応をするよう問題提起しました。